

# 「大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍」入院診療計画書

様

特別な栄養管理の必要性 (  有 ・  無 )

主治医: \_\_\_\_\_ 担当看護師: \_\_\_\_\_ 患者様サイン欄: \_\_\_\_\_

経過	入院～手術前々日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1～2日目	手術後3日目	手術後4～6日目	手術後7～14日目
治療について (手術日・退院日など)				(ICUへ入室の予定)	(病棟へ帰室予定)			点滴、ドレーンが抜け食事が十分に摂 可能なら退院可能です。
安静度 リハビリについて	病院内を自由に歩くことが できます。 		車いすか歩いて手術室へ向かい ます。	ベッド上で安静にしてください。 寝返りや膝たてはできません。	座位から立位へと徐々に離床 進めます。歩行も可能です。			
食事について	食事は摂れますが、 ご本人の状態や検査の内容 により食事制限があります。	食事は昼食までですが、 ご本人の状態によって 変更します。  水分は21時まで摂れます。	飲んだり食べたりできません。 うがいはできます。 	食事は昼食までですが、 ご本人の状態によって 変更します。	2日目から水分が摂れます。		4日目から流動食を 開始します。 	徐々に食事の形態をアップし7日目に 全粥になります。  栄養士から退院後の食事について説 明があります。
薬剤について (点滴・内服など)	ご本人の状態や検査により 点滴を行います。今まで 飲んでいた薬は医師の指示 にしたがって下さい。	午後以下剤を飲みます。 点滴を行います。	朝から点滴を行います。  内服薬は中止して下さい。	点滴を行います。背中 の管から持続的に痛み止めを行 います。  痛み止めの薬がなくなったら 背中 の管を抜きます。			医師の指示により内服 薬が再開になります。	食事が十分に摂取できるようになった 点滴は終了です。  薬剤師から退院後の薬の内容と管理 について説明があります。 
検査について	(手術の前日までに) 外来で行わなかった検査や適宜追加が 必要な検査を行います。 			採血とレントゲン検査があり ます。	1日目:採血とレントゲン検査 があります。	採血やレントゲンは適宜行います。		
処置について (ガーゼの交換など)	呼吸訓練を行います。適宜術後も行います。 痰を促す為に吸入を行うこともあります。 臍部をきれいにします。		朝6時に浣腸をします。 点滴の針を入れたままにしておき ます。病衣に着替えて、弾力性の ストッキングを着用します。	酸素マスク、心電図モニター をつけます。鼻の管は入れた ままにしておきます。  お腹に管が入ってきます。	1日目:医師の指示で酸素マスク を外します。鼻の管を抜きます。 お腹の診察をします。歩行可能 ならストッキングを外します。	お腹の診察をし ます。	4日目以降にお腹の管 を抜きます。	
清潔について (シャワー・入浴など)	入浴は指示にしたがって 下さい。	必ず入浴して下さい。 	入浴はできません。 	汗をかいたらその都度体を 拭きます。	看護師が蒸しタオルで体を拭き ます。 	洗髪、下半身シャワ ー浴ができます。	お腹の管が抜けた方は 絆創膏を貼ってシャワ ー浴ができます。	
排泄について			手術中に尿を出すための管を 入れます。	尿の管は入れたままにして おきます。	歩行が可能なら尿の管を抜きます。 その後は尿の測定を行います。		5日目まで尿の測定を 行います。尿の回数 をチェックしてください。	
患者さん及び ご家族への説明	手術前後の経過について 説明します。入院中はタバコ は吸えません。 			医師から手術の結果について ご家族の方に説明がありますので、 手術室の前でお待ち下さい。			看護師から食事につい て説明します。	医師から退院について説明がありま す。看護師から退院後について説明しま す。 

注1) 病名等は、現時点で考えられるものですので、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

注2)入院期間、表記の日時については現時点での予定です。

注3)ご質問等ございましたら、お気軽にスタッフまで声をかけて下さい。

真取

は

明が

ら

につ



す。

す。



院